

〔取組１〕 1人1台端末とクラウド環境を活用した効果的な教育実践の創出・モデル化
実施計画（指定校ごとにファイルを作成すること）

教育委員会コード	342215	教育委員会名	江田島市教育委員会
学校コード	C134210001383	指定校名（〇〇立～）	江田島市立大柿中学校

本事業の中で取り組む具体的な内容（すでに取り組んでいること、これから取り組もうと検討していることに分けて記載。）

①「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実		取組の重み付け (◎○△)
すでに取り組んでいること	①単元内自由進度学習「自分に合った学習の内容や進度及び方法を選択して学ぶ。」により学習に取り組んだ。（個別にChromebookまたは教材で学習、小グループでの学び合いで学習、担当教員との学習等を選択して学ぶ。） ②Chromebookを活用し、プレゼンソフトや表計算ソフト等を使用して、個別に学習内容をまとめたり、学習の振り返りを行ったり、協働的に個人の考えや意見を交流して学習を深める。	◎
これから取り組むこと	①「すでに取り組んでいること」をすべての教職員が理解し、授業において活用できるようにする。 ②これまで活用しているツールを使って効果のある授業改善を推進することや、新たな活用できるツールを開拓し、生徒の思考力や表現力をさらに高める。 ③家庭学習において、Chromebookを効果的に活用する実践を進める。 ④ICTの活用に関わる全学年のカリキュラム開発を行う。	
②教育課程全体を通じた情報活用能力の育成		
すでに取り組んでいること	①学習課題の授受（課題提示、提出物の情報共有や交流、成果物の提出及び評価） ②Chromebookを活用した情報の収集や表現 ③情報モラル教育を警察等と連携して進めている。	○
これから取り組むこと	①系統的に情報活用能力を育成できるよう、学習目標リストを作成する。 ②これまで活用しているツールを効果的に活用できるようにすることや、さらに、新たな活用できるツールを開拓する。 ③望ましい情報社会の創造に参画しようとする態度の育成。デジタル・シティズンシップ教育の推進。	
③動画教材の活用、外部専門家によるオンライン授業、端末持ち帰りによる家庭学習		
すでに取り組んでいること	①インターネット上の動画教材の活用（各教科等において実践） ②「Zoom」を活用して他校の校内教育支援センターと交流 ③JAXAはやぶさ2のプロジェクトリーダーである津田雄一先生による特別授業（中学校体育館から小学校教室へ配信） ④「学習支援ソフト」を活用し、主体的な学習に取り組む。その状況を教師が把握し、評価する。 ⑤デジタル教材・動画教材を、授業や家庭学習でも活用する。	◎
これから取り組むこと	①「すでに取り組んでいること」をすべての教職員が理解し、授業において活用できるようにする。 ②著名な方による特別授業を実施する。 ③海外の高校とつながっている近隣の高校との連携を通して、海外の中学校とつながり、交流授業を行う。 ④これまで活用している実践を深めることや、新たに活用できる動画教材等を開拓し、生徒の思考力や表現力をさらに高める。	

④教員の働き方改革、校務DXの推進		
すでに取り組んでいること	①チャット機能を使い、教職員間で日常的に連携を行う。 ②「学習支援ソフト」や「共有ドライブ」を活用し、資料のデータを共有し、ペーパーレスの会議やアンケートを行う。 ③デジタル機器の活用に係る研修を行い、これまで実施してきたICTを活用した実践を交流する。	◎
これから取り組むこと	①教職員及び保護者への通知やアンケートなどペーパーレスにする。 ②全職員への意識統一・ルールの徹底をする。 ③ICTを活用することにより、さらに業務改善を加速する。 ④生成AIを研修資料の作成などに活用し、業務時間の削減を図る。 ⑤小中合同研修等の研修において、研修内容の校内録画を通して、授業確保と全教職員への研修内容の周知を図る。	
⑤ 全国の学校現場が日々蓄積している優れた端末活用の事例から学び続ける		
すでに取り組んでいること	①先進校での視察から学んだことから、すぐできそうなことをすぐ実践する。 例：単元内自由進度学習、 I C Tを効果的に活用した授業改善、 I C Tを活用した校務上の情報共有	○
これから取り組むこと	①全国の他校のリーディングDXスクール事業の指定校の「中間報告」「最終報告」から本校にできそうなところをすぐ実践する。 ②指定校を訪問し、活用事例の実際を学ぶ。 ③学んだことを校内で広め、共有する。	
⑥①～④の実践内容についての地域内外への普及		
すでに取り組んでいること	①先進校での視察から学んだことから、すぐできそうなことをすぐ実践する。 ・学校ホームページへの掲載（ I C Tを活用した授業、取組について） ・ I C Tを効果的に活用した授業実践を江田島市主催研修で報告 ・市主催の授業づくり研修で授業公開及び事後研修を行う。	◎
これから取り組むこと	①リーディングDXスクール事業の指定校の「中間報告」「最終報告」から本校にできそうなところをすぐ実践する。 ②指定校を訪問し、活用事例の実際を学ぶ。 ③学んだことを校内・江田島市内の小中学校の公開研究会等で広め、共有する。	
⑦令和５年度の指定校の取組を踏まえた、指定校としての努力目標		
これから取り組むこと	○市、県におけるリーディング校になる。 ○児童は、毎日、毎時間、タブレット機器を活用する。 ○教職員は、校務にICT機器を活用することにより業務改善を図り、ウェルビーイングな職場環境を実現する。 ○実践内容を積極的に発信するとともに、研修会を実施することにより、普及する。	—
⑧その他		
すでに取り組んでいることについて掲載している媒体（学校webサイトやSNS等）があれば、記載	江田島市立大柿中学校ホームページ	
今後、開設等を予定している場合は、予定している内容を記載	なし	

年間計画（予定を具体的に記載）

年月	計画内容 例：第1回公開授業（実施するテーマ、実施形態、周知の方法、講師名等）
4月	事業開始キックオフ会への参加（オンライン参加：2名） 第1回大柿中学校区小中学校教育推進協議会（今年度の研究推進について） 校内研修会（令和6年度の取組、校内教職員）
5月	
6月	先進校視察 1名参加
7月	
8月	夏季学習会 2名参加 第2回大柿中学校区小中学校教育推進協議会（研究推進の経過について）
9月	先進校視察 2名参加
10月	先進校視察 2名参加
11月	公開授業（ICTを活用した授業づくり、現地開催、県内の教職員向け）
12月	
1月	校内研修会（令和6年度の取組、校内教職員） プロスポーツ選手の特別授業
2月	第3回大柿中学校区小中学校教育推進協議（今年度のまとめ）

確認事項

提出に「グループは16各項目の該当するプルダウンをすべて「はい」にすること

①～⑥全ての取組について、「すでに取り組んでいること」「これから取り組むこと」を記載しました	はい
⑦について、「これから取り組むこと」を記載しました	はい
「取組の重み付け」について1つ以上◎をつけました	はい
「これから取り組むこと」について「標準仕様に含まれている汎用的なソフトウェアとクラウド環境を十全に活用すること」を前提に具体的に記載しました	はい
契約期間内に事業成果を出せるよう、年間計画について具体的に記載しました	はい

未入力項目チェック ⇒ 現在未入力の項目はありません